

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成20年11月14日
【四半期会計期間】	第62期第2四半期（自平成20年7月1日至平成20年9月30日）
【会社名】	仙波糖化工業株式会社
【英訳名】	Semba Tohka Industries Co.,Ltd
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 堀川 駿太郎
【本店の所在の場所】	栃木県真岡市並木町2丁目1番地10
【電話番号】	0285-82-2171
【事務連絡者氏名】	取締役経理部長 松本 英男
【最寄りの連絡場所】	栃木県真岡市並木町2丁目1番地10
【電話番号】	0285-82-2171
【事務連絡者氏名】	取締役経理部長 松本 英男
【縦覧に供する場所】	株式会社ジャスダック証券取引所 (東京都中央区日本橋茅場町一丁目4番9号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第62期 当第2四半期連結 累計期間	第62期 当第2四半期連結 会計期間	第61期
会計期間	自平成20年 4月1日 至平成20年 9月30日	自平成20年 7月1日 至平成20年 9月30日	自平成19年 4月1日 至平成20年 3月31日
売上高(千円)	6,636,700	3,302,282	13,111,687
経常利益又は経常損失() (千円)	37,576	42,786	10,618
四半期(当期)純損失(千円)	48,587	33,879	30,333
純資産額(千円)	-	6,581,395	6,562,359
総資産額(千円)	-	14,291,667	14,460,932
1株当たり純資産額(円)	-	577.61	575.90
1株当たり四半期(当期)純損失金額(円)	4.26	2.97	2.66
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	-	46.1	45.4
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	23,978	-	1,778,255
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	164,875	-	262,442
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	109,800	-	1,001,885
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高(千円)	-	1,525,318	1,825,138
従業員数(人)	-	372	368

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、1株当たり四半期(当期)純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）の持分法適用関連会社である廈門華茗食品有限公司は、平成20年9月26日に解散決議いたしました。

3【関係会社の状況】

当第2四半期連結会計期間において、次の持分法適用関連会社が解散決議しております。

名称	住所	資本金 (千人民元)	主要な事業の内容	議決権の所有割合 (%)	関係内容
(持分法適用関連会社) 廈門華茗食品有限公司	中国福建省廈門市	8,000	その他製品・商品	40.00	同社製品を購入しております。 役員の兼任等...有

4【従業員の状況】

(1) 連結会社の状況

平成20年9月30日現在

従業員数(人)	372 [95]
---------	----------

(注) 従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数は [] 内に当第2四半期連結会計期間の平均人員数を外数で記載しております。

(2) 提出会社の状況

平成20年9月30日現在

従業員数(人)	318 [13]
---------	----------

(注) 従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数は [] 内に当第2四半期会計期間の平均人員数を外数で記載しております。

第2【事業の状況】

1【生産、受注及び販売の状況】

(1) 生産実績

事業部門等の名称	当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	
	受注高(千円)	受注残高(千円)
キャラメル製品部門(千円)	714,526	
粉末製品部門(千円)	1,015,501	
凍結乾燥製品部門(千円)	127,566	
造粒製品部門(千円)	756,244	
ブレンド製品部門(千円)	285,126	
その他製品・商品部門(千円)	196,814	
合計(千円)	3,095,778	

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
 2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。
 3. 当社グループの連結売上高は、その全てが食品製造販売事業であるため、事業の種類別セグメントの記載は行っておりません。

(2) 商品仕入実績

事業部門等の名称	当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	
	受注高(千円)	受注残高(千円)
その他製品・商品部門(千円)	396,623	
合計(千円)	396,623	

- (注) 1. 金額は仕入価格によっております。
 2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。
 3. 当社グループの連結売上高は、その全てが食品製造販売事業であるため、事業の種類別セグメントの記載は行っておりません。

(3) 受注実績

事業部門等の名称	当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	
	受注高(千円)	受注残高(千円)
キャラメル製品部門	719,789	83,465
粉末製品部門	514,283	132,425
凍結乾燥製品部門	153,696	5,529
造粒製品部門	784,749	73,228
ブレンド製品部門	307,577	60,717
その他製品・商品部門	713,114	41,999
合計	3,193,207	397,363

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
 2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。
 3. 当社グループの連結売上高は、その全てが食品製造販売事業であるため、事業の種類別セグメントの記載は行っておりません。

(4) 販売実績

事業部門等の名称	当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	
	金額(千円)	割合(%)
カaramel製品部門(千円)	717,827	
粉末製品部門(千円)	642,314	
凍結乾燥製品部門(千円)	160,543	
造粒製品部門(千円)	759,205	
ブレンド製品部門(千円)	276,180	
その他製品・商品部門(千円)	746,211	
合計(千円)	3,302,282	

(注) 1. 当第2四半期連結会計期間の主な相手先別の販売実績及び当該販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	
	金額(千円)	割合(%)
東洋水産株式会社	394,538	11.9
ユニフーディア株式会社	357,905	10.8

2. 本表の金額には、消費税等は含まれておりません。

3. 当社グループの連結売上高は、その全てが食品製造販売事業であるため、事業の種類別セグメントの記載は行っておりません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態及び経営成績の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結会計期間におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題に端を發した金融市場の混乱が世界経済に波及し消費動向に大きく影を落とすとともに原油・原材料価格の高騰に伴う企業の収益悪化を背景に景気の減速感ならびに不透明感が拡大してまいりました。

このような状況下、当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用関連会社）は、高騰した原材料価格や原油高による動力費の増加に対応するため、取扱い製品の市場環境に見合った販売価格の値上げを実施するとともに、より一層のコスト削減を推進してまいりました。その結果、当第2四半期連結会計期間の売上高は33億2百万円となり、利益面では粉末お茶の販売展開の遅れと、中国輸入冷凍食品問題の影響による当社の持分法適用関連会社である廈門華茗食品有限公司の清算決定等により、営業損失17百万円、経常損失42百万円、四半期純損失33百万円となりました。

部門業績は次のとおりであります。

カラメル製品部門

着色料カラメルの販売は堅調に推移いたしましたが、嗜好品であるデザート関連商品に使用されているシラップ及びプリン用タブレットが個人消費減退と内食回帰の影響から外食産業・洋菓子業界への販売が減少し、売上高は7億17百万円となりました。

粉末製品部門

新製品のレシピに組み込まれたPB品又はオープンプライス品等の即席麺用調味料が増加したことと、粉末お茶製品、和風調味料製品が順次市場に導入していることから、売上高は6億42百万円となりました。

凍結乾燥製品部門

凍結乾燥製品の主力である粉末山芋は依然、安価な海外品及び熱風乾燥品タイプへ市場トレンドが移行していることから、売上高は1億60百万円となりました。

造粒製品部門

健康食品素材関連製品が今期も順調に販売拡大したことと、スポーツ飲料関係が増加したことから、売上高は7億59百万円となりました。

ブレンド製品部門

輸出用粉末味噌汁及びスープ製品が増加したことと病院向け、量販店PB関連の製品が増加したことで、売上高は2億76百万円となりました。

その他製品・商品部門

年初に起った中国輸入冷凍食品問題に端を發した一連の報道から中国製品に対する消費者離れの影響を受け、粉末茶及び乾燥野菜製品の輸入が大きく減少したことから、売上高は7億46百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、15億25百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は2億31百万円となりました。

これは主に、減価償却費2億25百万円、仕入債務の増加額1億28百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は81百万円となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出81百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は1億74百万円となりました。

これは主に、長期借入金の返済による支出1億28百万円等によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結会計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結会計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、80百万円であります。

なお、当第2四半期連結会計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第2四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第2四半期連結会計期間において、前四半期連結会計期間末に計画中であった重要な設備の新設、除却等について、重要な変更はありません。また、新たに確定した重要な設備の新設、拡充、改修、除却、売却等の計画はありません。

第4【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	36,000,000
計	36,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成20年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成20年11月14日)	上場金融商品取引所名又 は登録認可金融商品取引 業協会名	内容
普通株式	11,400,000	同左	ジャスダック証券取引所	-
計	11,400,000	同左	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金 残高(千円)
平成20年7月1日～ 平成20年9月30日	-	11,400	-	1,500,500	-	1,194,199

(5)【大株主の状況】

平成20年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
東洋水産株式会社	東京都港区港南2-13-40	2,005	17.59
仙波フーズ株式会社	東京都千代田区神田神保町1-44-2 TNKビル4階	1,383	12.13
ユタカフーズ株式会社	愛知県知多郡武豊町川脇34-1	1,000	8.77
株式会社常陽銀行 (常任代理人 日本マスタートラ スト信託銀行株式会社)	茨城県水戸市南町2-5-5 (東京都港区浜松町2-11-3)	542	4.75
仙波糖化工業従業員持株会	栃木県真岡市並木町2-1-10	317	2.78
株式会社足利銀行	栃木県宇都宮市桜4-1-25	274	2.41
魚住昭義	栃木県真岡市並木町	238	2.09
株式会社榎本武平商店	東京都江東区新大橋2-5-2	214	1.87
味の素株式会社	東京都中央区京橋1-15-1	200	1.75
株式会社みずほ銀行 (常任代理人 資産管理サービ ス信託銀行株式会社)	東京都千代田区内幸町1-1-5 (東京都中央区晴海1-8-12 晴海アイランドトリトンスクエアオフィス タワーZ棟)	182	1.60
計	-	6,357	55.79

(注) 発行済株式総数に対する所有株式数の割合は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

(6)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成20年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 5,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 11,349,000	11,349	-
単元未満株式	普通株式 46,000	-	-
発行済株式総数	11,400,000	-	-
総株主の議決権	-	11,349	-

(注)「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が、1,000株含まれております。
 また、「議決権の数」の欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数1個が含まれております。

【自己株式等】

平成20年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
仙波糖化工業(株)	栃木県真岡市並木町2丁目1番地10	5,000	-	5,000	0.04
計	-	5,000	-	5,000	0.04

(注)発行済株式総数に対する所有株式数の割合は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

2【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成20年4月	5月	6月	7月	8月	9月
最高(円)	360	362	360	358	340	325
最低(円)	340	359	325	310	300	276

(注) 最高・最低株価は、ジャスダック証券取引所におけるものであります。

3【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の異動はありません。

第5【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号、以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第2四半期連結会計期間（平成20年7月1日から平成20年9月30日まで）及び当第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,555,318	1,855,138
受取手形及び売掛金	3,098,257	2,853,312
有価証券	1,394	1,394
商品	447,615	422,257
製品	759,668	756,915
原材料	582,480	650,017
仕掛品	305,326	299,681
繰延税金資産	303,080	268,130
その他	287,063	307,129
貸倒引当金	22,229	7,812
流動資産合計	7,317,977	7,406,166
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,182,049	2,238,926
機械装置及び運搬具(純額)	2,499,111	2,628,840
その他(純額)	445,243	440,088
有形固定資産合計	5,126,404	5,307,855
無形固定資産	32,195	32,205
投資その他の資産		
投資有価証券	1,018,957	743,285
繰延税金資産	379,916	476,613
その他	422,271	509,153
貸倒引当金	6,055	14,348
投資その他の資産合計	1,815,090	1,714,704
固定資産合計	6,973,690	7,054,766
資産合計	14,291,667	14,460,932

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,582,773	1,608,242
短期借入金	2,656,312	2,418,312
未払法人税等	27,509	79,444
賞与引当金	162,705	205,670
役員賞与引当金	1,000	2,000
その他	608,322	681,830
流動負債合計	5,038,623	4,995,499
固定負債		
長期借入金	1,290,904	1,547,560
退職給付引当金	1,327,133	1,301,902
その他	53,612	53,612
固定負債合計	2,671,649	2,903,074
負債合計	7,710,272	7,898,573
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,500,500	1,500,500
資本剰余金	1,203,109	1,203,109
利益剰余金	3,587,582	3,727,329
自己株式	1,803	1,558
株主資本合計	6,289,389	6,429,380
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	320,477	154,197
為替換算調整勘定	28,471	21,219
評価・換算差額等合計	292,006	132,978
純資産合計	6,581,395	6,562,359
負債純資産合計	14,291,667	14,460,932

(2) 【四半期連結損益計算書】
 【第 2 四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 9 月30日)
売上高	6,636,700
売上原価	5,536,214
売上総利益	1,100,486
販売費及び一般管理費	1,128,705
営業損失 ()	28,219
営業外収益	
受取利息	1,974
受取配当金	6,672
為替差益	13,072
その他	7,102
営業外収益合計	28,822
営業外費用	
支払利息	28,035
持分法による投資損失	8,127
その他	2,016
営業外費用合計	38,179
経常損失 ()	37,576
特別損失	
関係会社出資金評価損	22,654
固定資産除却損	9,371
投資有価証券評価損	6,963
リース解約損	922
保険解約損	562
特別損失合計	40,475
税金等調整前四半期純損失 ()	78,052
法人税、住民税及び事業税	21,543
法人税等調整額	51,008
法人税等合計	29,464
四半期純損失 ()	48,587

【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	
売上高	3,302,282
売上原価	2,759,035
売上総利益	543,246
販売費及び一般管理費	560,282
営業損失()	17,035
営業外収益	
受取利息	1,191
受取配当金	942
その他	4,827
営業外収益合計	6,962
営業外費用	
支払利息	14,177
持分法による投資損失	9,056
為替差損	7,675
その他	1,804
営業外費用合計	32,713
経常損失()	42,786
特別利益	
投資有価証券評価損戻入益	416
特別利益合計	416
特別損失	
関係会社出資金評価損	22,654
固定資産除却損	4,145
保険解約損	562
特別損失合計	27,363
税金等調整前四半期純損失()	69,733
法人税、住民税及び事業税	17,611
法人税等調整額	53,465
法人税等合計	35,853
四半期純損失()	33,879

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
 (自平成20年4月1日
 至平成20年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失()	78,052
減価償却費	443,004
固定資産除却損	9,371
投資有価証券評価損益(は益)	6,963
貸倒引当金の増減額(は減少)	6,123
賞与引当金の増減額(は減少)	42,965
役員賞与引当金の増減額(は減少)	1,000
退職給付引当金の増減額(は減少)	25,230
受取利息及び受取配当金	8,647
支払利息	28,035
為替差損益(は益)	1,147
持分法による投資損益(は益)	8,127
関係会社出資金評価損	22,654
売上債権の増減額(は増加)	272,896
たな卸資産の増減額(は増加)	36,351
その他の流動資産の増減額(は増加)	72,010
仕入債務の増減額(は減少)	7,584
その他の流動負債の増減額(は減少)	196,498
その他	4,988
小計	71,534
利息及び配当金の受取額	8,750
利息の支払額	30,832
法人税等の支払額	73,431
営業活動によるキャッシュ・フロー	23,978
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	146,972
有形固定資産の除却による支出	1,440
投資有価証券の取得による支出	3,599
貸付けによる支出	29,930
貸付金の回収による収入	11,457
その他の支出	1,130
その他の収入	6,740
投資活動によるキャッシュ・フロー	164,875
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(は減少)	238,000
長期借入金の返済による支出	256,656
自己株式の取得による支出	244
配当金の支払額	90,899
財務活動によるキャッシュ・フロー	109,800
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,165
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	299,819
現金及び現金同等物の期首残高	1,825,138
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,525,318

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
1. 連結の範囲に関する事項の変更	該当事項はありません。
2. 持分法の適用に関する事項の変更	持分法適用の関連会社 2社 会社名 福建龍和食品実業有限公司 福州龍福食品有限公司 廈門華茗食品有限公司は、平成20年9月26日をもって解散し、清算手続中であります。
3. 会計処理基準に関する事項の変更	重要な資産の評価基準及び評価方法の変更 たな卸資産 通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。 これにより、当第2四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失は、それぞれ17,469千円増加しております。

【簡便な会計処理】

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
棚卸資産の評価方法	棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年9月30日)

(有形固定資産の耐用年数の変更)

当社及び国内連結子会社の機械装置については、従来、耐用年数を9年～12年としておりましたが、第1四半期連結会計期間より10年に変更しました。

この変更は、平成20年度の法人税法の改正を契機として資産の利用状況等を見直した結果、改正後の法人税法に基づく耐用年数とするものであります。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失は、それぞれ5,925千円減少しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)
1 有形固定資産の減価償却累計額は、12,054,357千円です。	1 有形固定資産の減価償却累計額は、11,697,357千円です。
2 偶発債務 債権譲渡契約に基づく債権流動化を行っておりません。	2 偶発債務 債権譲渡契約に基づく債権流動化を行っておりません。
未収入金譲渡残高 7,829千円	未収入金譲渡残高 7,574千円

(四半期連結損益計算書関係)

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	
給料手当及び賞与	214,723千円
賞与引当金繰入額	42,673
役員賞与引当金繰入額	1,000
退職給付引当金繰入額	24,279
貸倒引当金繰入額	10,428
運賃	170,851
研究開発費	156,003

当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	
給料手当及び賞与	117,743千円
賞与引当金繰入額	14,314
役員賞与引当金繰入額	499
退職給付引当金繰入額	16,770
貸倒引当金繰入額	7,288
運賃	85,902
研究開発費	80,011

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成20年9月30日現在)	
現金及び預金勘定	1,555,318千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	30,000
現金及び現金同等物	1,525,318

(株主資本等関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

1. 発行済株式の種類及び総数

普通株式 11,400千株

2. 自己株式の種類及び株式数

普通株式 5千株

3. 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4. 配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成20年6月27日 定時株主総会	普通株式	91,159	8.00	平成20年3月31日	平成20年6月30日	利益剰余金

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

当第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)
当社グループの連結売上高は、その全てが食品製造販売事業であるため、該当事項はありません。

【所在地別セグメント情報】

当第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)
本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

当第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)
海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(有価証券関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成20年9月30日)
有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度末と比べて著しい変動がないため、記載しておりません。

(デリバティブ取引関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成20年9月30日)
当社グループは、デリバティブ取引を全く行っておりませんので該当事項はありません。

(ストック・オプション等関係)

当第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)
当社グループは、ストック・オプション等を全く行っておりませんので該当事項はありません。

(企業結合等関係)

当第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)
該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)		前連結会計年度末 (平成20年3月31日)	
1株当たり純資産額	577.61円	1株当たり純資産額	575.90円

2. 1株当たり四半期純損失金額

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)		当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	
1株当たり四半期純損失金額	4.26円	1株当たり四半期純損失金額	2.97円
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注) 1株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)
四半期純損失(千円)	48,587	33,879
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失(千円)	48,587	33,879
期中平均株式数(千株)	11,394	11,394

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(リース取引関係)

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じて処理を行っておりますが、当第2四半期連結累計期間におけるリース取引残高は前連結会計年度末と比べて著しい変動が認められないため、記載しておりません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成20年11月10日

仙波糖化工業株式会社
取締役会 御中

監査法人トーマツ

指定社員
業務執行社員 公認会計士 古口 昌巳 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 鎌田 竜彦 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている仙波糖化工業株式会社の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成20年7月1日から平成20年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、仙波糖化工業株式会社及び連結子会社の平成20年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。